



(本 社) 甲府市増坪町74	TEL055-241-3151 FAX055-241-8530
(営業所) 上野原市新田661	TEL0554-62-3321 FAX0554-62-3322

梅雨の候、ますますご健勝の事とお慶び申し上げます。いつも弊社を御利用頂きありがとうございます。暑さも増して参りますので体調管理等、十分お気をつけ下さい。さて今回は3Dプリンターについて簡単ではありますがご説明させていただきます。

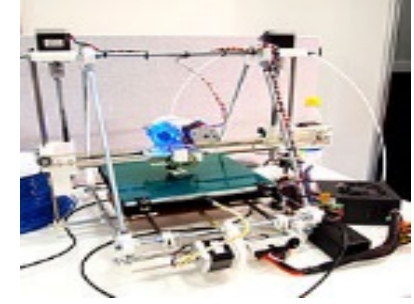
加工部 小林

<編集者>
塚原 佳由
望月 博隆
村松 貴
赤木 健三
山田 幸平

鋼種 Q & A ~3Dプリンターについて~



3Dプリンターとは3DCADや3DCGなどの3次元ソフトウェアで作成されたデータを元に断面形状を積層し、立体造形することができる機器を総称したものです。一般的にプリンターと呼ばれる機器は、紙などの平面にインクを吐き出し、文字や図を印刷するものですが、3Dプリンターは液体樹脂に光を当てながら少しずつ硬化させたり、一定の温度で熱溶解させた樹脂を積み重ねたり、粉末状の材料に高出力レーザーを照射し焼結させたりとさまざまな技法で材料を積み上げて立体物を成形していきます。また金属素材を扱う3Dプリンターについても基本原理は金属粉末をレーザーで焼結し形作っていくというもので、製品の断面を一枚一枚積み重ねていく方法は樹脂素材の成形とほとんど同じです。



近年3Dプリンターの低価格化が進み、個人向けの数万円で購入可能なものも出始めており家庭への浸透も始まっています。産業分野でもデザインや製品の機能を検証するための試作品の製造や建築模型、さらに医療では術式確認のための検討資料作成など応用範囲の広がりを見せており、今後もますます3Dプリンターの活躍の場は増えていくことでしょう。

★社長のワンポイント★米中半導体戦争がまだ解決に向かわない現在、山梨市場の激減は大きな痛手となっております。半導体という部分でコアな製造装置を製造しているのが山梨の関係会社であり、世界＝山梨という構図になっております。今回何故本気で米国を怒らせたしまったのか・・・これは、正当ではない方法で行われる技術のコピーで、違法行為で得た技術情報を自国で良いように加工して使用する。外資系合併会社に技術の移転を強要する、ネットワークシステムにバックドアを設けて情報流出の仕掛けをするといった事、USTRA（アメリカ合衆国通商代表部）は3年かけて調べ上げて今回の経済戦争の一手を打ちました。米国もかなり情報をつかんでいるということで、かなり強気で中国共産党に対して圧力をかけています。特にファーウェイ（華為）、ZTE（中興通訊）、JHICCなどの企業を徹底的に攻撃し市場から閉め出しはじめています。しかし、関税という領域は武器としては初歩の部分である程度の部分で妥協していくと思うのですが世界経済という枠組みの中で米国一番政策はどこで幕引くかが問題であると・・・全てトランプ大統領の心一つのような感じも受けます。でも米国の本当の狙いとは一体何なのかマスコミが本当に伝えているのか？米国は3年かけて調査し、中国の覇権経済をどうやって破滅に向かわせていくかを計画をしてくれていることなのです。たとえば、ファーウェイ、ZTE、ハイクビジョン、ダーファ（大華）、ハイテラ（海能達通信）などは通信と監視カメラで世界1、2位の企業です。別の言い方をすると、サイバーセキュリティや軍事転用できる技術をもっており、基本は軍事的優位の闘いであって、中国共産党と米国の名の別においた民主主義との闘いと言わざる終えません。長続きする様相の中で世界の中の山梨・・・しっかり見定めて動かなくてはいいですね。

★国中エリア 塚原★
隣国では200万人が反対するデモが起きていたり、ホルムズ海峡付近でのタンカー攻撃や、貿易問題では依然として先に進まない状況が続いている昨今ですが、今出来る事を考えて行動して行きたいと感じています。6月の国中動向ですが、半導体関係の受注が少しづつ出て来ているようです。夏場～秋口にかけて動き出し始めるとも聞いております。車、トラック関係では、5月の調整も一段落ついたようで、通常稼働に戻っているようです。切削メーカーでは、設備投資を行う企業が依然として少なくともメンテナンスの需要が増えているのが現状のようです。年末に向かって極端な動きは無いようですが、緩やかに良くなって行くような感じにも受け取れております。今後の動きに期待したいと思っております。

★郡内エリア 望月★
大阪サミットG20の開催月ですが、情勢が変わると言った雰囲気がないのは気のせいだと思います。変わって頂きたいです。米中経済戦争では、貿易のみならず多方面でも競争が激化しているそうです。郡内の動向ですが、5月と変わりなく厳しい状況です。工作機械関係では、MCは良くない状況が続いており、部署によってひらきかなりあるそうです。半導体はA社に仕事がありますが内製化が確立されており外に流れるのが少ないそうです。プレスでは、建築関係の部品の仕事があるそうです。各大手企業での業績で仕事量にかなりのひらきがあり、トラック、自動車メーカーによってひらきがあります。これが忙しいと言う所がない感じが、7月に仕事が出る噂があるお客様もあります。今後の動向を見て皆様に報告していきたいと思っております。

★上野原エリア 山田★
6月に入り天候も良くない時期ですが体調管理には気を付けて頂きたいと思っております。さて、動向ですが非常に厳しい状況です。半導体は瞬間上昇傾向が見られたもののアメリカ、中国による経済制裁により急速に下火になってしまいました。9月頃まではこのまま。。。とのお話をお客様から伺いました。自動車関係は車種にもよりますがほぼ横ばいといった感じですが、東京、埼玉、神奈川方面でも半導体関係は厳しく安価で短納期の仕事を取り合っている状況のうえ、安価な仕事が出回っている、とのお話を伺いました。全国的に半導体関係が厳しく、大阪などの西日本エリアから県内の自動車関係の仕事を相見積りにより取りに来ている。などのお話を耳にしました。非常に厳しい状況が続いておりますが、今後の県内動向にしっかりと目を向けて2019年の後半に期待を持ち注視して行きたいと思っております。